

認定特定非営利活動法人

だいじょうぶ

2021 年度 事業報告

(2022 年 第 17 回総会資料)

日時：2022 年 5 月 28 日（土）

13:30～15:30

場所：子どもと親の相談室

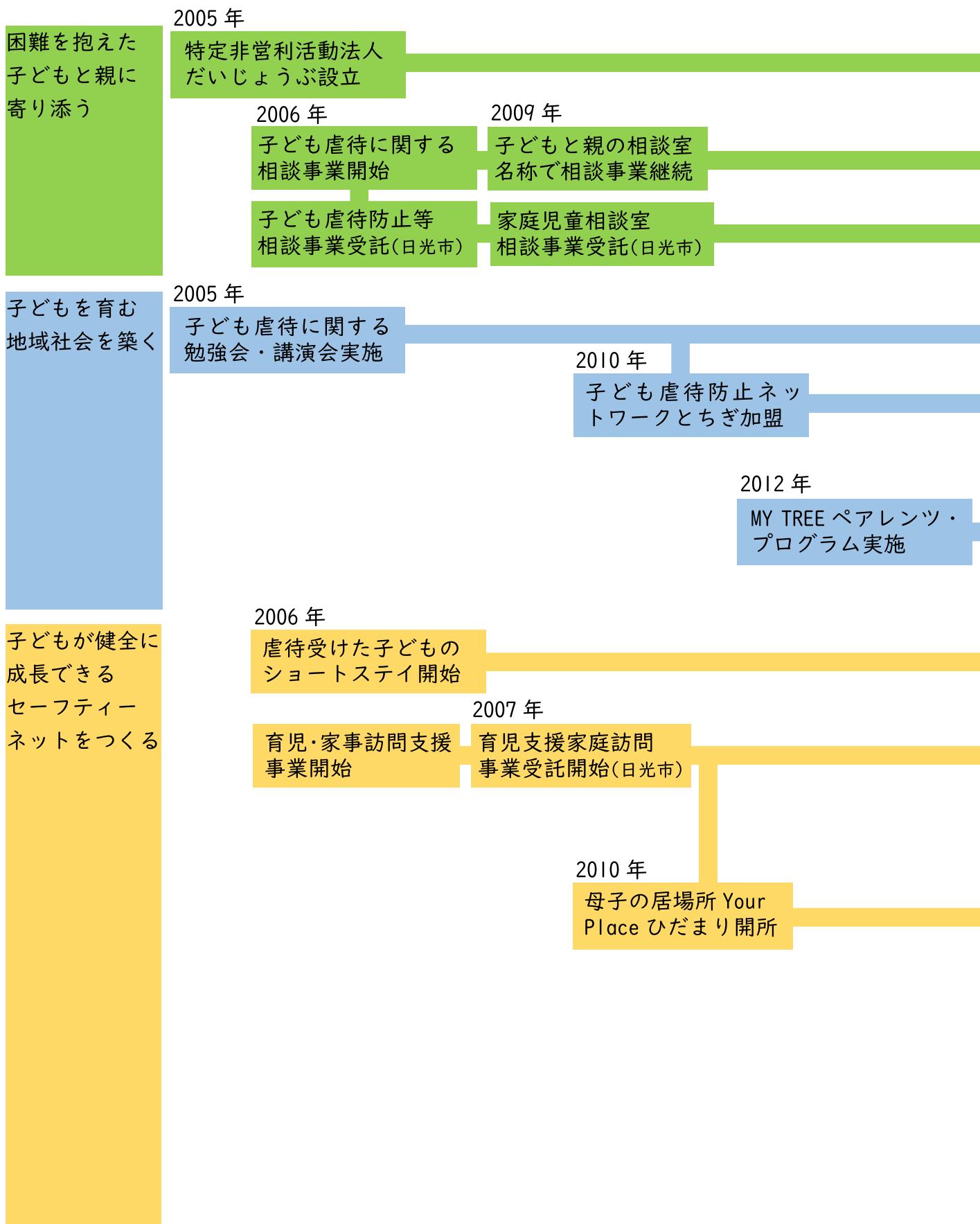
総会次第

- 1、開会
- 2、理事長あいさつ
- 3、議長選出
- 4、定足数の確認
- 5、書記及び議事録署名人の選出
- 6、審議事項

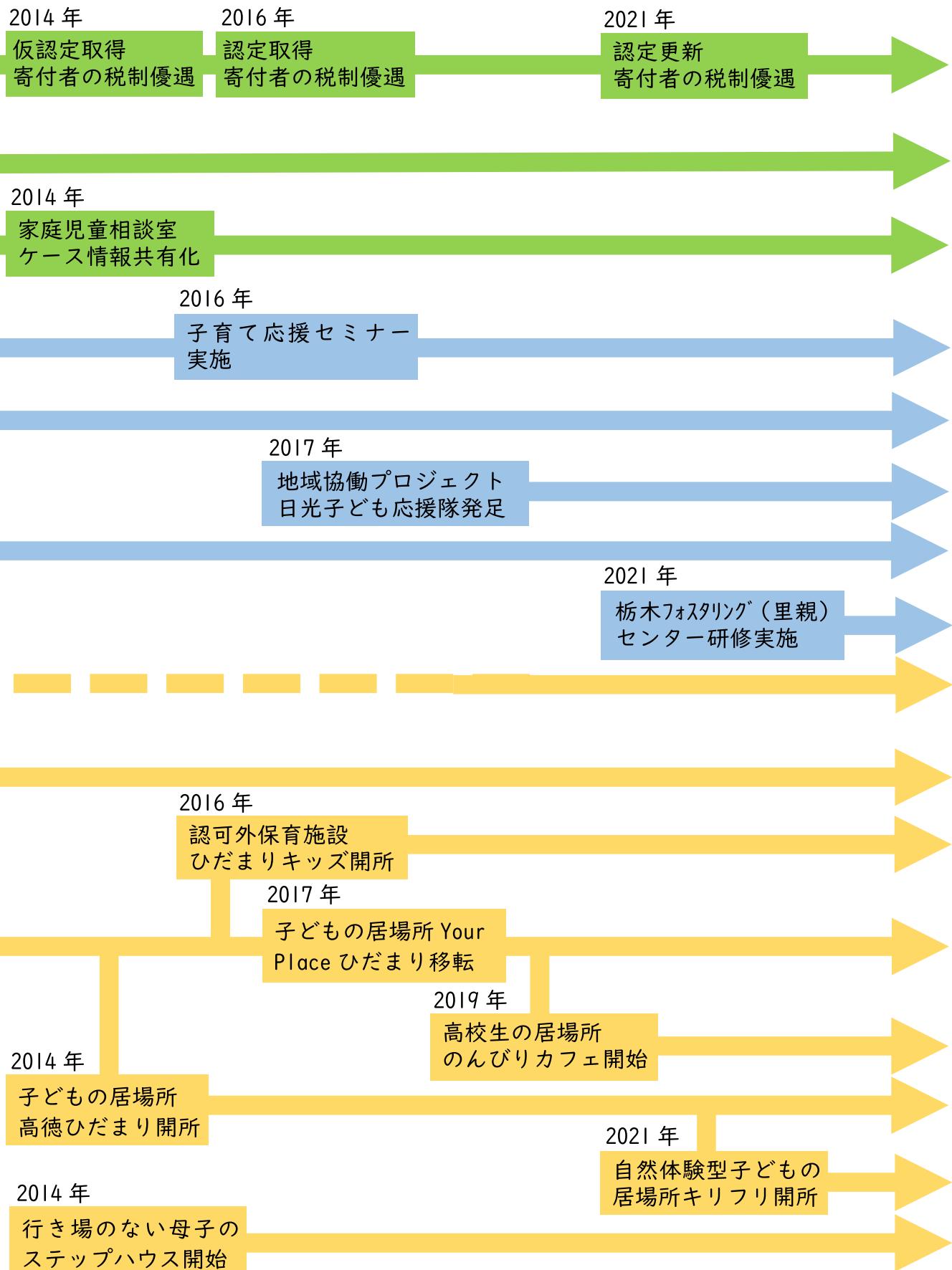
第 1 号議案	2021 年度事業報告について	P. 3~16
第 2 号議案	2021 年度決算報告及び監査報告について	P.17~22
第 3 号議案	2022 年度事業計画書（案）について	P.23~27
第 4 号議案	2022 年度予算書（案）について	P.28~30
- 7、議長解任
- 8、その他
- 9、閉会

一人でも多くの子どもが「生まれてきてよかった！」と実感できる地域をつくります。

特定非営利活動法人だいじょうぶは、虐待や貧困、親の病気など様々な理由で家で安心して暮らすことのできない子どもたちとその家族に寄り添い、支えています。すべての子どもたちが生まれや環境に左右されずに他者との関りの中で成長できるよう、出会う子どもたちのニーズに



合わせて活動を生み出してきました。現在では、日光市との協働で取り組む相談事業を中心に、それぞれのケースに合わせて様々な支援を組み合わせ提供しています。



全体の報告

新型コロナウィルスの影響

新型コロナウィルスパンデミックは、まだ終息の兆しを見せません。経済的な要因による家庭への影響も大きいです。加えて、長期化による子どもたちの心身への影響も心配です。例えば、マスクの着用による表情の読み取りの難しさもあります。外出・レジャー・行事の自粛による体験不足も心配です。そして何より、ソーシャルディスタンスの徹底による、人と人とのふれあい、キンシップの減少が、将来子どもたちにどんな影響を及ぼすのか…、とても心配しています。

直近の第6波といわれる感染拡大の波は、子どもの居場所にも押し寄せました。体調の不良もなくひだまりを利用した子が翌日発熱、その後の検査で陽性が確認され、ひだまりを1週間閉め、施設の消毒を行ったこともあります。職員が濃厚接触者となり、居場所を開けられない日もありました。感染予防を考えれば、利用人数を少なくするなどの方策もありました。しかし、通常でさえ人とのふれあい、体験に乏しい居場所の子どもたちです。ひだまりでの大人とのふれあい、子ども同士のふれあいはとても貴重なものです。感染予防に最大限の注意を払いながら、人数を減らさず、いつも通りの居場所運営を心掛けました。

ひだまりでの、遊び、ふれあい、温かい食事、等々が、きっと子どもたちの財産になっていく、そう信じて活動を続けました。

栃木フォオタリング（＝里親）センター発足・だいじょうぶが里親に関する研修を受託

栃木県は、ひとりでも多くの子どもたちが、家庭のぬくもりを感じながら望ましい環境で安心して生活することを目的に「栃木フォオタリングセンター（一般社団法人とちぎ家庭養育推進協議会運営）」を設置し、里親養育に関する包括的な支援を行うことになりました。フォオタリングセンターは、①里親制度の普及啓発、②里親のリクルート、③研修・トレーニング、④養育への支援と、4つの役割を担います。だいじょうぶでは、そのうちの③研修・トレーニング部門を受託、畠山理事長を中心に、業務にあたっています。

今年度は、里親向けのフォオタリングチェンジプログラムと、里親支援員向けのフォオタリングパートナー養成研修を開催しました。また、児童相談所が実施する「里親基礎研修」、「里親認定前研修」、「里親更新研修」にオブザーバーとして参加し、来年度からの主催に向けて、勉強させていただきました。

これまで、畠山理事長への業務の集中が課題となっており、研修を運営、準備できる事務局職員の補充が急務となっています。

日光市の協働モデルをアピールし、全国に！

ひだまりの活動が認められ、子どもの居場所が県内にモデル事業として広がり、そして2020年、子どもの居場所に充当可能な国の予算ができることで、子どもの居場所が全国に広がる可能性が生まれました。県内の居場所との情報交換の中から、子どもたちの支援を行うにあたり、市の相談室との連携（子どもの家庭状況の把握）が課題と耳にします。過去10数年の試行錯誤を経ながら、家庭児童相談室のだいじょうぶとの協働運営を決断した日光市の先見の明に感謝すると同時に、家庭児童相談室の協働を、先進事例として広く社会にアピールしていく必要性を感じています。

「日光市家庭児童相談室」※日光市と協働 「子どもと親の相談室」※だいじょうぶ独自の相談室

事業内容

虐待や貧困、親の病気など、様々な理由で家で安心して過ごせない子どもとその家族に寄り添って、家庭環境を把握し、必要な支援を組み立てる司令塔を担っています。

日光市の家庭児童相談室に、だいじょうぶからアドバイザー1人と相談員2人が加わり、市と協働で相談対応にあたっています。また、年齢等の理由で市の家庭児童相談室の対象外となるケースなどに対応する独自の相談室、「子どもと親の相談室」も運営しています。両方が同じ建物内にあるため、情報の共有、支援依頼、支援内容の調整・報告がスムーズにできています。

ケース情報が完全共有化され、対等に援助方針を話し合い、具体的な支援につなげられる、行政とNPOの協働のモデルになるような事例だと自負しています。

事業報告

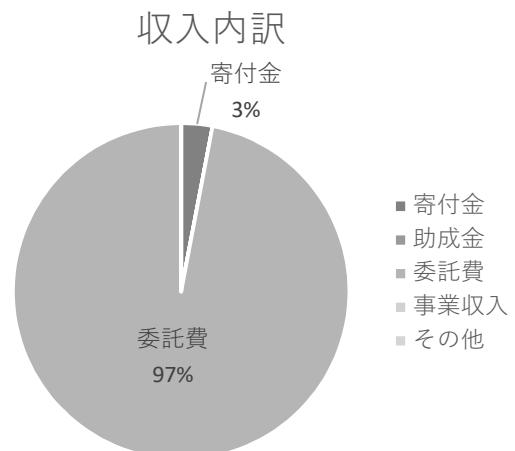
<家庭児童相談室>

相談件数は、コロナの影響で減少した2020年度の14,793件から17,456件と増加しました。相談業務に関して言えば、日常に戻りつつあると言えるでしょう。相談件数の増加につれ、新規でつながった要保護児童数は262件から306件と増加しています。現場の感想ですが、新型コロナウィルスの精神的、経済的ダメージが今になって親子に影響を及ぼしてきて、深刻な相談が増えている印象です。

<子どもと親の相談室>

平日時間外と土日祝日の相談件数が566件から837件と増加しています。中でも、訪問相談が29件→93件と急増しています。時間外の相談対応従事者が増え、対応可能となったためです。

また、困窮した子育て家庭を対象に、食材の提供支援を実施しました。



実施日時	毎日 24 時間	従事者数	7人	事業費の金額	10,349,136
実施場所	日光市家庭児童相談室、子どもと親の相談室、従事者宅、等				
受益者数	新規受理数:延べ 17,456 件 要保護児童 306 人				

「ショートステイ事業」

事業内容

母親の入院や出産、不適切な養育などで、一時的に子どもが家庭で過ごすことが困難になった場合や、虐待を防ぐための母親の休息のため、お子さんを数日～1週間程度お泊まりで預かり、養育する事業です。

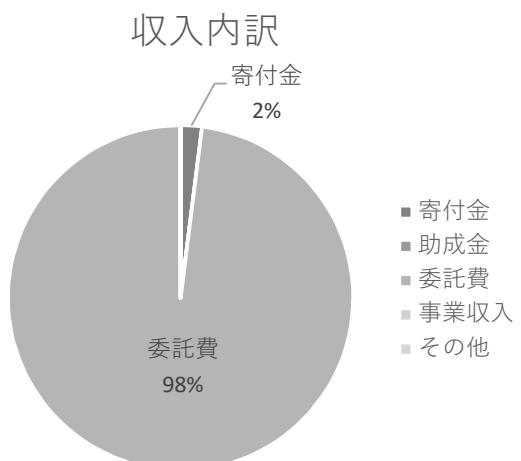
ファミリーホーム虹の家やキリフリ自然学校、地域の里親さんなど、里親の資格がある、家族に保育士がいるなど、一定の要件を満たした方（場所）に登録していただき、委託しています。また、職員と一緒に泊まり込むなどしてひだまりで受け入れる場合もあります。

日光市からの委託だけでなく、過去には家出をした高校生のSOSを受け止め、泊まつてもらったケースもあります。

事業報告

2020年度は子ども虐待を防ぐための父母の休息のためや、母の出産入院のための預かりが多く、利用も多かったです。2021年度は、件数は少ないものの、居所のない母子の利用が多く、ひだまり等だいじょうぶの施設での対応が主でした。また、母が子どもを放置したまま彼氏のところに行ってしまったため保護したケースもあります。

7/24~26	2人(母、12歳)	Your Place ひだまり	アパート退去から県外転居までの利用
7/1~14	1人(4歳)	虹の家	母の育児放棄のため利用
12/1~2	3人(母、9歳、7歳)	ひだまりキッズ	母が子どもを放置するのを防ぐため利用
3/17~23	3人(母、12歳、7歳)	高徳ひだまり	経済困窮と居所がないため利用



実施日時	随時	従事者数	4人	事業費の金額	218,321
実施場所	ファミリーホーム虹の家、YourPlace ひだまり、高徳ひだまり、ひだまりキッズ				
受益者数	日光市内の保護が必要な母子、延べ9人				

「食べて・遊んで・学んで育つ日光子ども応援隊」、「講師派遣事業」、等

事業内容

子ども虐待や子どもの貧困の課題を広く市民に伝え、子どもが大切にされる社会をつくるために、様々な事業を行っています。講師派遣や、研修会の実施、地域協働プロジェクトへの参画などです。

<子ども応援隊>

多様な主体による、子どもの貧困の課題解決に向けたプロジェクトです。地域の子どもたちが、生まれや環境によって自分を諦めることがないよう、その気になればチャレンジできる環境を整えるために、様々な事業を行っています。日光市の子どもの貧困の現状を「調べ」、「課題を見つけ」、「対策を練り」、「活動」しています。

参画主体:スマイル日光プロジェクト、S&S セミナー、NPO 法人和音、NPO 法人楽ツ子の会
ワンプレイト、キリフリ自然学校、個人有志、だいじょうぶ

事業報告(※講師派遣実績は「その他」のページに記載)

<子ども応援隊>

①朝カフェ(日光東中学校にて):月2回、会議室を借りて、始業前に飲食ができるカフェを実施

4/26、5/10.24、6/14.28、7/12、10/11.25、11/22、12/13 の計 10 回開催

②子どもカフェ(ひかりの里にて):毎週木曜日、高齢者施設のコミュニティースペースで、カフェを実施

10/17～12/23 の計 9 回開催、子どもたちは宿題や工作、ボードゲーム、読書などして過ごす

③地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会in日光実施

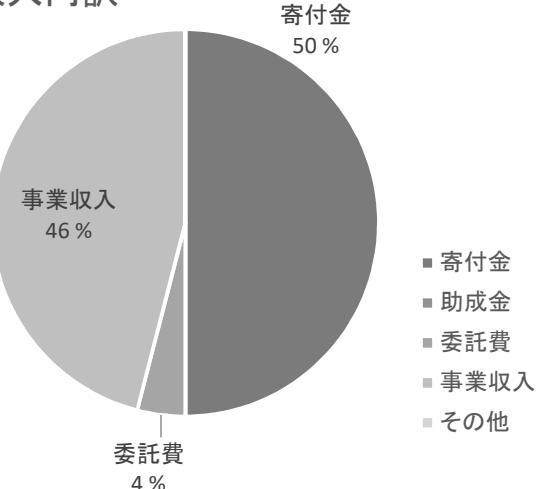
9/19(日)今市中央公民館中ホール+Zoom にて テーマ「最強の子育てチームづくり」

講師:西川正さん(ハンズオン!埼玉 理事)、応援隊メンバー6人

にっぽん子ども・子育て応援団との協働事業



収入内訳



実施日時	随時	従事者数	4人(交流研修10人)	事業費の金額	444,607
実施場所	講師派遣:県内外各所	子ども応援隊:市内各所			
受益者数	講師派遣:全国、多数 子ども応援隊:朝カフェ約 200 人、子どもカフェ約 50 人、人材交流研修会 59 人				

とちぎフォスタリングセンター研修

事業内容

社会的養護の家庭養育推進を目的に、養育里親を増やし、今いる里親さんがよりよい里子への関わりを持てるように、フォスタリングチェンジプログラム等の里親向け研修、里親サポーター養成のための研修を実施しています。

栃木県が設置した「とちぎフォスタリングセンター」を運営する、一般社団法人とちぎ家庭養育推進協議会から同センターの研修事業部分を受託し、実施しています。

また、2022年度からの実施に向け、栃木県中央児童相談所が実施する里親認定研修にオブザーバー参加し、研修の内容等学ばせていただきました。

事業報告

<フォスタリングチェンジプログラム>

1999年イギリスで開発されたプログラム。子どもの長所に焦点を当て、子どもを育て、認めるための実践的なスキルを学び、家庭で実践するプログラム。

1/11～全12回講座

<フォスタリングパートナー（養成）講座>

寄り添い型の里親支援者のための研修です。県内児童養護施設に配置されている里親支援専門相談員と、児童相談所から推薦いただいた里親・施設職員が構成メンバーです。

10/7・9、12/7、2/2 の4回実施

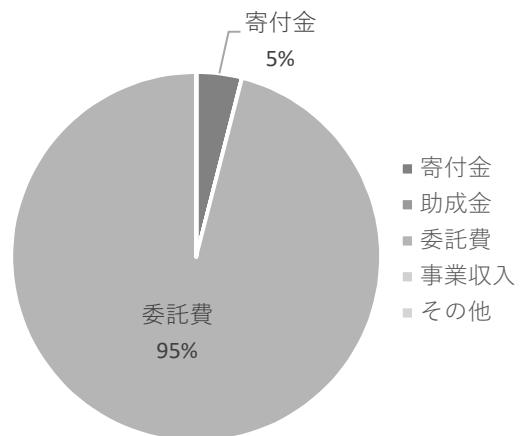
<児童相談所の里親認定研修に参加>

里親基礎研修・座学 10/28、11/25 ・施設実習 12/4、12/18

登録前研修・座学 12/20 ※新型コロナの影響で、座学の一部と施設実習が延期



収入内訳



実施日時	9月～随時	従事者数	4人	事業費の金額	3,157,615
実施場所	とちぎ福祉プラザ、パルティ栃木男女共同参画センター、他				
受益者数	フォスタリングチェンジプログラム 6人、フォスタリングパートナー研修 22人				

「MY TREE ペアレンツ・プログラム」

事業内容

「子ども虐待とは、これまで人として尊重されなかった痛みや悲しみを怒りの形で子どもに爆発させている行動です（森田ゆり プログラム開発者）」

このプログラムは、「怒り」の裏側にある痛みや悲しみ、心の傷に目を向け、回復を促すプログラムです。自分自身を大切にできるようになると、子どもへの「怒り」の爆発が減っていきます。

2012 年度から毎年実施、2021 年度で 10 回目となります。プログラムの運営は、研修を積んだ専門スタッフが担当しています。

県北地区でも、2019 年から県内 2 グループ目となる「とちの木グループ」が結成され、母親プログラムを実施しています。

事業報告

参加者は市町の相談室からの紹介が主になっています。児童相談所に対して、子どもが一時保護された親御さんをぜひプログラムに誘ってほしいとお願いしていますが、なかなか実現しないでいます。

・実施日時:9月10日～12月17日(全13回連続講座) 9:45～12:15

他に個別にインテイク面接、中間面接、終了時面接を実施。3月11日に同窓会も実施

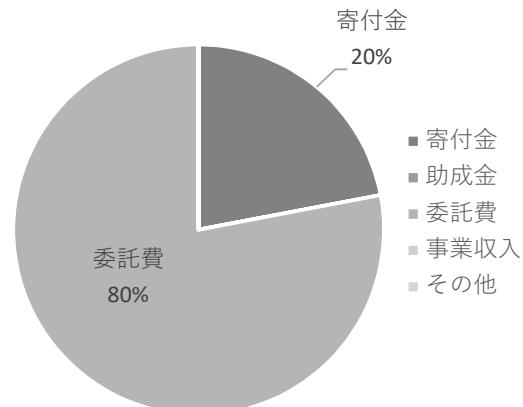
・参加者数:6人

・参加者の声:毎週教えていただいたことを実践することによって、子どもとの関係がよくなりました!

※2022 年度の父親向けプログラム開催に向け準備を開始しました。



収入内訳



実施日時	9/8～3/16	従事者数	3人	事業費の金額	1,318,673
実施場所	パルティとちぎ男女共同参画センター				
受益者数	子どもを虐待してしまう母親 6人				

子育てヘルパー 「育児・家事 訪問支援事業」

事業内容

支援の必要なご家庭を訪問し、育児や家事のお手伝いをしたり、病院や学校、役所への送迎・同行をしたりします。母親の休息のために乳幼児の託児も行っています。

※ひだまりキッズでの託児についてこれまで、「育児支援」の枠ではなく、「保育」の枠での事業受託を目指して日光市と協議してきました。その結果、2021年度より、子どもの居場所の枠での事業受託がされ人件費を含む多額の委託費をいただけるようになりました。



事業報告

託児部分が子どもの居場所の実績となつたため、実績が大幅に減っています。同行支援については、保健師や相談員の動きがよくなり私たちの同行がいらなくなり、2020年度の134件から30件と激減しています。

<委託事業内訳>

・託児	58件
・家事支援	12件
・同行支援	30件
・送迎支援	241件

合計………349件

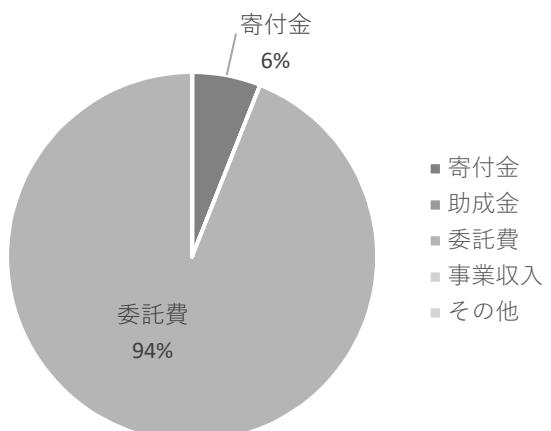
<自主事業内訳>

・託児・居場所	12件	・食料支援	19件
・同行支援	2件	・入浴支援	30件
・送迎支援	11件	・その他	6件
・散髪支援	7件		

合計………87件



収入内訳



実施日時	ニーズに応じ随時	従事者数	8人	事業費の金額	1,337,363
実施場所	Your Place ひだまり、高徳ひだまり、ひだまりキッズ、ニーズに応じ市内各所				
受益者数	日光市民 延べ436人				

支援が必要な乳幼児の認可外保育施設 「ひだまりキッズ」

事業内容

育児疲れや、育児不安等で子どもの養育がままならないケース等、支援が必要な乳幼児を、保育園入園までの間一時的に預かり、保育しています。

スキンシップや声掛け、受け止めを大切に、母親のように、お祖母ちゃんのように保育しています。家族に移動手段がない場合、送迎も行っています。居場所を求めている母親も多いことから、母子での利用も可能な限り受け入れています。

平日 9 時～17 時開所(土日祝日は休み)

事業報告

新型コロナウィルスは心配でしたが、子どもの人との関わりを優先し、感染予防に配慮しながら複数世帯の同時預かりに戻しました。感染防止のため利用を少人数にした2020年度の305件から、553件と248件増えています。そんな中、定期利用した5人を始め、7人の子が一般の保育園、幼稚園につながりました。2ケース4人の子どもは、母親のレスパイトの為、保育園終了後の夕方の預かりを行いました。こうしたニーズが高まっているので、今後、夕方の預かりが増えていきそうです。

・開所日数:234日

・利用者数:乳幼児23人+母親2人 延べ乳幼児551人 2.4人/日利用

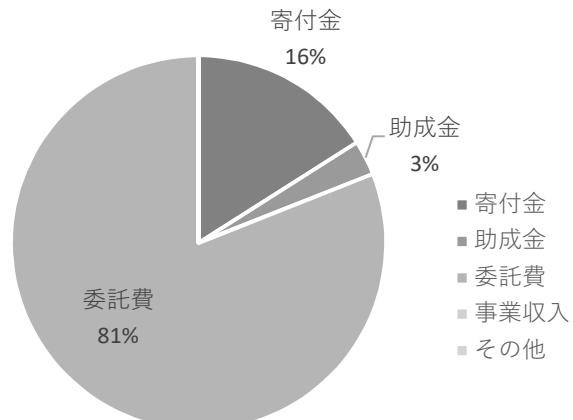
・職員10人、ボランティア1人が延べ592人従事 2.5人/日従事

ひだまりキッズ月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キッズ開所	21	18	22	21	19	20	21	21	20	16	18	17	234
キッズ利用	44	43	48	37	48	44	46	59	67	42	39	34	551



収入内訳



実施日時	平日週5日	従事者数	10人+ボラ1人	事業費の金額	7,107,885
実施場所	ひだまりキッズ				
受益者数	日光市在住の乳幼児23人とその母親2人 延べ551人(件)				

～地域にあるもう一つの家～ 子どもの居場所「ひだまり」 Your Placeひだまり / 高徳ひだまり / キリフリ自然学校

事業内容

家庭支援に入れない子どもを、家に入れないなら連れ出そう!と発想し、つくりました。

家で安心して過ごせない子を、放課後学校や家にお迎えに行き居場所に連れてきます。居場所では、皆で遊び、食卓を囲み、必要に応じて入浴や洗濯もして、あとは寝るだけにして家に送ります。子どもにとって、「もう一つの家」、「おばあちゃんち」のように、優しく受け止めてもらえる、安心して過ごせる居場所であることを、何より優先しています。ひだまりでは、日常の生活支援だけではなく、長期休みや休日のイベント開催、外遊びへの連れ出し等、不足しがちな体験を補う事業も行っています。

栃木県が、ひだまりをモデルに、子どもの居場所づくりを市町に呼びかけ、宇都宮市や小山市等に 8 か所の子どもの居場所が立ち上がっています。

事業報告

ひだまりキッズと一緒に、キリフリ自然学校も子どもの居場所として、委託されることになり、小中学生向けの居場所は 3 か所となりました。キリフリ自然学校は、自然体験型の居場所として、外遊びを中心とした居場所です。室内でゆったり過ごすより、外で思い切り発散することが必要なタイプの子どもがキリフリで過ごしています。

ワクチン接種も進んだこともあり、人とのふれあいを重視し、感染対策をしながら、以前のように複数世帯一緒に預かりとしました。しかし、第 6 波の感染拡大の波はひだまりにも押し寄せ、職員の家族や利用する子どもが陽性となることもあります。そのため、1 月から 3 月の実績がかなり落ち込んでいます。

特に Your Place では、利用の翌日に発症、翌々日に陽性が確認された子がいたことから、業者に頼んで施設を消毒し、1 週間お休みをすることもありました。

Your Place ひだまり 月別の利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	23	27	25	22	24	25	24	22	14	18	18	267
延利用者数	70	61	86	80	70	72	76	90	85	37	56	59	842

高徳ひだまり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	18	18	22	20	19	20	21	20	18	15	13	20	224
延利用者数	30	33	36	32	21	48	46	36	37	22	24	36	401

子どもの居場所キリフリ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	6	4	9	7	8	6	9	12	5	5	7	10	88
延利用者数	21	13	26	20	17	16	17	16	13	14	11	12	196
3か所計	121	107	148	132	108	136	139	142	135	73	91	107	1,439

子どもたちの様子



<Your Place ひだまり>

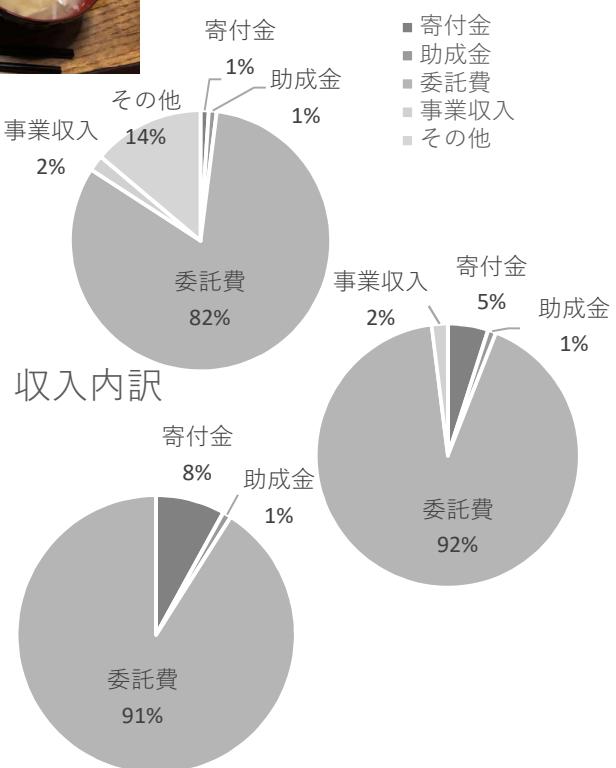
- ・267日開所 延べ842人利用 3.2人/日利用
- ・職員15人が延べ746人従事 2.8人/日従事
- ・ボランティア4人が延べ19人従事

<高徳ひだまり>

- ・224日開所 延べ401人利用 1.8人/日利用
- ・職員15人が延べ541人従事 2.4人/日従事
- ・ボランティア7人が延べ67人従事

<キリフリ自然学校>

- ・88日開所 延べ196人利用 2.3人/日利用
- ・職員9人が延べ207人従事 2.4人/日従事
- ・ボランティア9人が延べ23人従事



実施日時	平日+随時土日祝	従事者数	職員25人/ボランティア13人
事業費の金額	Your Place:7,333,778 高徳:6,226,963 キリフリ:2,762,559		
実施場所	Your Place ひだまり、高徳ひだまり、キリフリ自然学校、市内各所		
受益者数	日光市内在住の支援が必要な子ども 延べ1,439人(件)		

生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業（日光市委託） 高校生の中退防止事業「のんびりカフェ」・社会的な居場所づくり事業

事業内容

<高校生の中退防止事業「のんびりカフェ」>

日光市在住及び日光市の高校に通う高校生&高校生世代の若者を対象としています。

高校中退を防止し、高校卒業&就労等、社会的自立を目指す事業です。土曜日開催の居場所「のんびりカフェ」と、カフェ等で培った人間関係をもとに相談対応や食材提供等を行う訪問支援を行っています。カフェでは、のんびりと音楽を聴いたり、ボードゲームをしたり、卓球をしたりと、好きなことをして過ごします。希望に応じ、相談に乗っています。

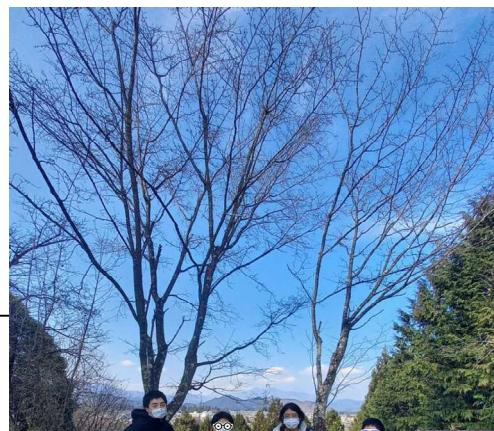
<社会的な居場所づくり事業> ※子どもの居場所事業の実績に含まれています。

事業報告

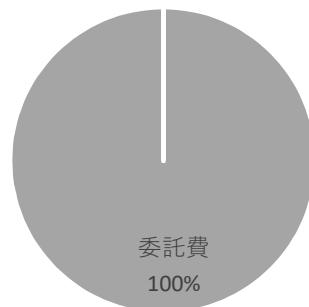
消毒や体調管理、マスクの着用を徹底しながら、実際に顔を合わせての開催としましたが、1~2ヶ月の蔓延防止等重点措置期間はお休みしています。

新規利用者の発掘が課題で、子どもの居場所ひだまりを卒業した中高生が利用の中心になっています。第2、4 土曜日は中学生も参加OKの日として、中学生的利用も歓迎しています。

のんびりカフェと連動して、中学3年の受験生を中心に希望者を対象として、勉強会も実施しました。カフェ終了30分前の15:00~17:00とし、元教員のボランティア2人と職員が勉強を教えました。



収入内訳



- 寄付金
- 助成金
- 委託費
- 事業収入
- その他

実施日時	第1~4 土曜、他	従事者数	職員5人 ボラ4人	事業費の金額	3,234,804
実施場所	Your Place ひだまり、利用者宅等				
受益者数	日光市内在住の高校生等12人 カフェ:延べ148人 訪問支援等:延べ72人(件)				

生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業（日光市委託） 学力向上を図る学習支援事業

事業内容

生活困窮家庭の中学校2・3年生を対象とした、無料の学習支援事業です。

以前、ひだまりの子の受験勉強にボランタリーに関わってくださっていたS&Sセミナーに運営をお願いしています。遠方等で通えない子には、Zoomを活用し、リモートで勉強を教えています。

事業報告

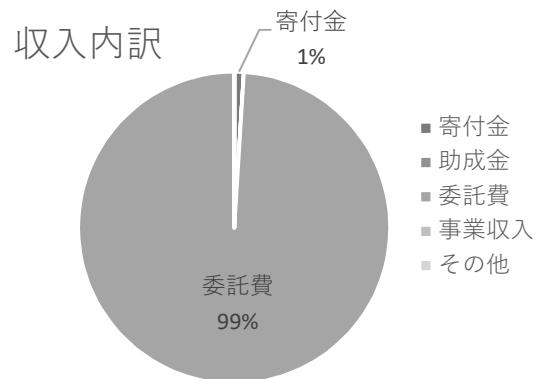
<中学2年生>

対象者：25人が登録、利用 週1回開催で延べ730人が利用

<中学3年生>

対象者：28人が登録、利用 週3回開催で延べ1,345人が利用

実施日時	中2：金曜日 中3：水・土曜日、木・土曜日
従事者	S&Sセミナー
事業費の金額	13,134,144
実施場所	非公開（日光市内）
受益者数	日光市内在住 要保護・準要保護世帯の中学生等 2年生25人・3年生28人



母子の自立に向けた「ステップハウス」

事業内容

離婚や生活困窮、退職で寮を出されたりして行き場を失った母子に、3ヶ月を目安に無料で住まいを提供しています。利用中に、APの敷礼金等自立に向け必要な資金を貯めていただきます。

事業報告

・退職で寮を出された若者1人2～3月に37日利用

・パートナーと別居し行き場のない母子3人が3月に15日利用（利用継続中）

実施日時	2月～3月	従事者数	3人	事業費の金額	0
実施場所	Your Place ひだまり2F、高徳ひだまり2F				
受益者数	4人				

その他の動き

事業内容	実施内容
① 総会、理事会の開催	・総会 5月30日 第16回通常総会 ・理事会 5月12日 第1回理事会(総会議案) 10月30日 第2回理事会(上半期の報告、下半期の計画、他)
② 通信の発行	・4月30日 「だいじょうぶ通信35号」自然体験型の居場所オープン、他 ・11月10日 「だいじょうぶ通信36号」日光子ども応援隊活動報告、他 ・2月12日 「だいじょうぶ通信37号」サンタdeクリーン&ウォーク活動報告、他
③ 講演会、研修への参加	・4月17日 アサーティブとコーチング研修 ・5月21日 家事調停研修会 ・7月22日 森田ゆりzoom講演会 ・9月16日 子どもの居場所連絡協議会研修「愛着障害への理解と対応①」 ・9月18日 専門里親研修 ・9月19日 地域まるごとケアプロジェクト地域人材交流研修会 ・10月4日 台湾の子どもの貧困対策報告会 ・11月12日 ライフストーリーワーク研修 ・11月28日 子ども虐待をなくそう県民の集い「虐待サバイバーが社会を変える」 職員全体研修「宝くじが当たったらーだいじょうぶの野望ー」 「課題と要望の抽出」「あつたらいいなワークショップ」 ・1月7日 子どもの居場所連絡協議会研修「愛着障害への理解と対応②」 ・2月18日
④ 他団体との交流	・4月25日 「トムソーカ」イベントへの参加 ・10月9日 チャリティーウォーク(フードバンクうつのみや)休憩所運営 ・12月18日 サンタで宿題革命ウォークへの参加
⑤ 講座等実施	・3月6日 コロナ支え合い基金 寄付&活動説明会
⑥ 講師派遣	・5月13日 宇都宮大学講義 ・6月18日 民生委員児童委員研修会 ・7月7日 こころのバトン「地域共生社会について」 ・10月4日 日光明峰高校「貧困の現状と対策」 ・10月13日 ひかりの里講話 ・11月23日 講演会「地域に広げよう子どもの居場所」 ・11月26日 武蔵大学zoom講座 ・11月28日 児童虐待防止全国ネットワーク ・1月17日 さっぽろ青少年女性活動協会研修
⑦ 見学受入	・4月14日 ミヤラジみんながけっぷちラジオ担当者2人 ・5月26日 フリーカメラマン坂本さん、太田さん ・9月22日 日光明峰高校生「子どもの貧困について」見学、講話 ・11月29日 元児童相談所職員 直井氏 他2名 ・12月10日 Hinata(子どもの居場所)酒井理事長 他3名 ・12月13日 光陽エンジニアリング飯塚氏
⑧ 資金集め	・12月19日 子どもの貧困撃退♡チャリティー サンタdeクリーン大作戦参画

事業内容	実施内容														
⑨ メディア	<ul style="list-style-type: none"> ・4月27日 ミヤラジみんながけっぷちラジオ収録・生放送 ・6月14日 阿部亮のNGO世界一周zoom放送 ・8月11日? とちぎ放送 生放送出演 ・12月 6日 TBSテレビ 虹の家 														
⑩ 取材	<ul style="list-style-type: none"> ・4月21日~3月18日(全4回) 下野新聞取材 ・4月26日 栃木リビング新聞社 絵本の取材 ・6月14日 読売新聞渡さん MY TREE 取材(6/23掲載) ・9月21日 公明新聞取材 ・9月7日~10月21日(全4回) NHKEテレ取材 ・2月9日 東遊商取材 														
⑪ 各種委員会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木県人権政策推進審議会委員 ・日光市福祉のまちづくり推進委員会今市地区委員 ・日光東中学校学校評議員 ・栃木県中学教育研究会委員 														
⑫ 物資の寄贈 (受け入れ)	<p>○育児支援家庭、母子の居場所「ひだまり」、食材配布会宛てに食品や日用品などの生活物資を寄贈いただいた。件数は320件(94か所より)にのぼる。</p> <p><物資提供をいただいた皆様(敬称略)></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">・個人有志の皆様</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>・団体:社会貢献支援財団</td> <td>いちご工房中山</td> </tr> <tr> <td>フードバンク宇都宮</td> <td>フードバンク日光</td> </tr> <tr> <td>太子食品工業株式会社</td> <td>無量山専念寺</td> </tr> <tr> <td>だいやの森旬菜館</td> <td>JAかみつが</td> </tr> <tr> <td>カーブスショッピングプラザ日光</td> <td>コメール・アミーゴス</td> </tr> <tr> <td>東京リアルリンクアネックス</td> <td>かきぬまファーム、他</td> </tr> </tbody> </table>	・個人有志の皆様		・団体:社会貢献支援財団	いちご工房中山	フードバンク宇都宮	フードバンク日光	太子食品工業株式会社	無量山専念寺	だいやの森旬菜館	JAかみつが	カーブスショッピングプラザ日光	コメール・アミーゴス	東京リアルリンクアネックス	かきぬまファーム、他
・個人有志の皆様															
・団体:社会貢献支援財団	いちご工房中山														
フードバンク宇都宮	フードバンク日光														
太子食品工業株式会社	無量山専念寺														
だいやの森旬菜館	JAかみつが														
カーブスショッピングプラザ日光	コメール・アミーゴス														
東京リアルリンクアネックス	かきぬまファーム、他														
⑬ 物資の支援 (提供)	<p>○生活困窮家庭への物資支援実績(合計92家庭に、延べ385件支援した。) ひだまりを利用しているなどだいじょうぶで関わる家庭だけではなく、新型コロナウィルスの影響で困窮する家庭への支援が増えてきている。特に、子育て中のご家庭向けに広く食材の配布会を実施した。</p> <p><配布会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材セット配布会 毎月第4土曜日に実施(9月は休み) <p><提供品内わけ></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品</td> <td style="width: 50%;">569件</td> </tr> <tr> <td>・お米</td> <td>1,795kg</td> </tr> <tr> <td>・衣類</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>・育児用品</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>・入学&進学準備品(学用品・制服&ジャージ)</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>117件</td> </tr> </tbody> </table>	・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品	569件	・お米	1,795kg	・衣類	35件	・育児用品	28件	・入学&進学準備品(学用品・制服&ジャージ)	16件	・その他	117件		
・乾麺や調味料、缶詰、レトルトなどの食品	569件														
・お米	1,795kg														
・衣類	35件														
・育児用品	28件														
・入学&進学準備品(学用品・制服&ジャージ)	16件														
・その他	117件														

※その他の事業「バザー」実施せず。